

NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第154号
通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2016年9月23日発行 46,370部

わたしたちが市民としてできることってなんだろう？

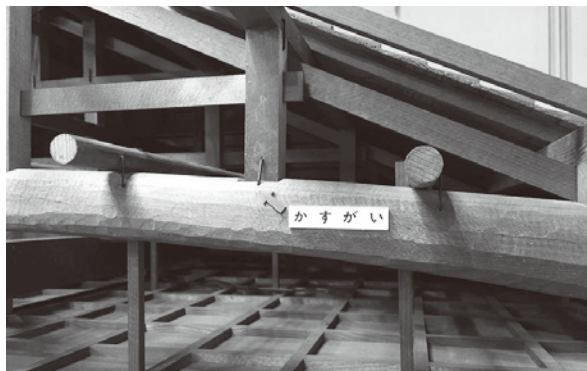
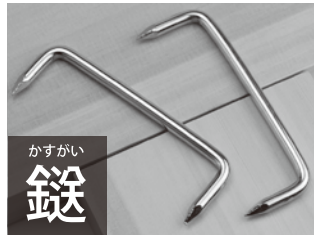
project K 発足 「かすがい」ってなあに？ 子はかすがい、子育ては春日井

春日井市は、平成28年3月24日に子育て宣言をしました。
そして、その子育て宣言から半年が経とうとしています。
子育て宣言の行く末も気になるころではありますが、そもそもこの、
子はかすがい=子は銚の『銚』って皆さん知っていますか？



子育て真最中のママに「銚って知っていますか？」のクイズを出したら、正解率は約10%でした。
ちなみに、子育て宣言の認知度も低かったです…
子育て真最中の若いママたちの世代に馴染みの少ない「銚」をもっと知ってもらい、子育て宣言にも関心をもってもらいたい…

「銚を知ってもらわないと、子育て宣言も意味をなさなくなってしまう」
そんな危機感から、銚を知ってもらうプロジェクトとして、「project K」を有志で発足しました。



だじゃれではなくことわざです ことわざ『子は銚』

子はかすがいとは、子どもは夫婦の仲を繋ぎとめてくれるものだということ

注釈：夫婦仲が悪くても、子への愛情のおかげで夫婦の縁を切らずにいれるということ。
子が夫婦の縁を保ってくれるということのたとえ。
「銚(かすがい)」とは、材木と材木をつなぎとめるために打ち込む、両端の曲がった大きな釘のこと。「子は夫婦の銚」ともいう。



ちょっと小さなママの文化祭にて

銚を使ったハンドメイドから 銚をアピールしよう！

銚のこと知ってもらうためにどうしたらいいんだろう？
と考えていたNPO法人あいちかすがい副代表の松元えみさんは、アクセサリや身近なものから知ってもらうのがいいのではないかと考え、ハンドメイドでイベントなどに来店している、水上美晴さんと吉村典子さんにも声を掛けて少しずつ動き始めました。

銚をパーツとして使い、アクセサリや小物を手作りして、もっと身近に知ってもらうと考えると、ハンドメイドが得意なメンバーが試作品を作り、商品を作っていました。



お披露目第一弾は、8月23日(土)大和エネルギーカスタマーセンターさんで行われた「ちょっと小さなママの文化祭」での出店でした。

- 銚をパーツとして使用したアクセサリ。
- 銚が何かと何かを繋ぎ止めるもの、というところから「ご縁をつなぐ」「人と人とを繋ぐ」という思いを込めて、お守りストラップも製作しました。

初回のお披露目は、ドキドキワクワク！
みなさんの反応からリサーチして、今後につなげていきたいなあと考えていました。

結果、とても興味を持ってくださった方も多くて、とても嬉しかったです。

もっと工夫をして、みなさんに見ていただけるように考え、これからも皆さんの目に触れていただきたいと思います。

NPO法人あいちかすがいこのブログや、NPO法人あっとわん代表かわののブログなどでも告知をしていきたいと思えます。

楽しみにしててくださいね～

